

報道関係各位

平成30年12月21日

道総研地域セミナー in 渡島&檜山

道総研では道民の皆様を対象に、道総研の研究成果など、生活に関係するものをテーマとしたセミナーを実施しており、今回は函館市と江差町で開催します。

今回のテーマは「**地域の防災を考える**」です。道総研 北方建築総合研究所及び地質研究所の研究者が、「防災から考えるまちづくり戦略」「過去の北海道南西沖津波と新たな津波浸水想定」「地震・津波にどう立ち向かうか」についてお話しします。

つきましては、多くの方々にご参加いただけるよう、事前報道にご協力をお願いいたします。あわせて、事前及び当日の取材希望もお気軽にご連絡ください。

【開催情報】

- ◎日時 渡島地区：平成31年1月16日（水）13：30～15：30
檜山地区：平成31年1月17日（木）13：30～15：30
- ◎場所 渡島地区：渡島総合振興局 3階講堂（函館市美原4丁目6-16）
檜山地区：檜山振興局 4階講堂（檜山郡江差町字陣屋町336-3）
- ◎講演者 ・講演1 道総研 北方建築総合研究所 地域研究部 研究主幹 福井 淳一
・講演2 道総研 地質研究所 地域地質部 主査 川上源太郎
・講演3 道総研 北方建築総合研究所 地域研究部 研究主幹 戸松 誠
- ◎主催 道総研（地方独立行政法人 北海道立総合研究機構）
- ◎後援 渡島総合振興局、檜山振興局
- ◎参加費 無料
- ◎申込み 渡島地区：200名（先着）、檜山地区：80名（先着）
※事前申込みをお願いします。詳細は下記、セミナーイベント情報ホームページ。
- ◎ホームページ
セミナーイベント情報「道総研セミナー」
https://www.hro.or.jp/info_headquarters/event/its/index.html

【講演概要】

◎講演1 防災から考えるまちづくり戦略

防災対策を進めるための科学技術の知見の重要性を解説します。また、東日本震災被災地の復興まちづくりや災害を想定した都市計画・まちづくりの事例を紹介し、災害対応だけでなく、高齢化など社会変化に合わせたまちづくりについて解説します。

◎講演2 過去の北海道南西沖津波と新たな津波浸水想定

檜山沿岸で13世紀頃と1741年に発生した津波による堆積物を発見しました。これらは、1993年北海道南西沖津波を上回る津波が過去に発生したことを示しており、津波浸水予測図を大幅に見直しました。過去の津波から将来発生する津波を考えます。

◎講演3 地震・津波にどう立ち向かうか

北海道南西沖地震や本年9月6日に発生した北海道胆振東部地震は、北海道に甚大な被害をもたらしました。地震の被害想定や、冬に津波が発生した場合の避難対策に関する研究成果から、地震・津波に対してどのような行動が必要かを紹介します。

詳しくはこちらへお問い合わせください。

道総研（地方独立行政法人北海道立総合研究機構）連携推進部 渡邊・山崎
電話 011-747-2900 Fax 011-747-0211
E-mail hq-soudan@hro.or.jp URL <http://www.hro.or.jp>

地震に津波、いつ起こるかわからない自然災害。
それまでに何を準備する？いざその時はどう逃げる？
みんなで地域の防災を考えよう！

道総研地域セミナー in 渡島 & 檜山

「地域の防災を考える」

渡島地域

日時 1月16日(水)
13:30～15:30

場所 渡島総合振興局 3階講堂
(函館市美原4丁目6-16)
◆定員 200名(先着)

檜山地域

日時 1月17日(木)
13:30～15:30

場所 檜山振興局 4階講堂
(檜山郡江差町字陣屋町336-3)
◆定員 80名(先着)

プログラム (両日共通)

◆ 防災から考えるまちづくり戦略

道総研 北方建築総合研究所 研究主幹 福井 淳一

◆ 過去の北海道南西沖津波と新たな津波浸水想定

道総研 地質研究所 主査 川上 源太郎

◆ 地震・津波にどう立ち向かうか

道総研 北方建築総合研究所 研究主幹 戸松 誠

裏面がお申し込み用紙になって
おりますのでご利用ください。

※ お申込みが定員を超えた場合、お断りさせていただく
可能性があります。

主催 道総研 (地方独立行政法人 北海道立総合研究機構)
後援 渡島総合振興局、檜山振興局

お問い合わせ・お申し込み先

道総研 (地方独立行政法人 北海道立総合研究機構)
連携推進部

電話 011-747-2900
FAX 011-747-0211
メール hq-soudan@hro.or.jp
HP <http://www.hro.or.jp>



道総研地域セミナー in 渡島 & 檜山 「地域の防災を考える」

申込み
用紙

プログラム (両日共通)

申込締切日 2018年1月8日(火)

13:30 ~ 13:40

道総研の紹介

13:40 ~ 14:10

防災から考えるまちづくり戦略

道総研 北方建築総合研究所

研究主幹 福井 淳一

防災対策を進めるための科学技術の知見の重要性を解説します。また、東日本震災被災地の復興まちづくりや災害を想定した都市計画・まちづくりの事例を紹介し、災害対応だけでなく、高齢化など社会変化に合わせたまちづくりについて解説します。

14:10 ~ 14:40

過去の北海道南西沖津波と新たな津波浸水想定

道総研 地質研究所

主査 川上 源太郎

檜山沿岸で13世紀頃と1741年に発生した津波による堆積物を発見しました。これらは、1993年北海道南西沖津波を上回る津波が過去に発生したことを示しており、津波浸水予測図を大幅に見直しました。過去の津波から将来発生する津波を考えます。

14:40 ~ 15:10

地震・津波にどう立ち向かうか

道総研 北方建築総合研究所

研究主幹 戸松 誠

北海道南西沖地震や本年9月6日に発生した北海道胆振東部地震は、北海道に甚大な被害をもたらしました。地震の被害想定や、冬に津波が発生した場合の避難対策に関する研究成果から、地震・津波に対してどのような行動が必要かを紹介します。

E-mail (hq-soudan@hro.or.jp) または F A X (011-747-0211) のいずれかにてお申込みください。

参加日(会場)	参加されるセミナーに○をつけてください 16日(渡島総合振興局)*定員200名 ・ 17日(檜山振興局)*定員80名
会社・所属	
電話またはE-mail	
参加者名	

※お預かりした個人情報は本セミナー以外の目的には使用いたしません。

お申し込み先

道総研(地方独立行政法人北海道立総合研究機構) 連携推進部
〒060-0819
札幌市北区北19条西11丁目

電話 011-747-2900
F A X 011-747-0211
メール hq-soudan@hro.or.jp